

## 第63回全国七大学総合体育大会

## 競技要項

## 体操

令和 2024年 3月 10日 改訂

1、大会名称	第63回全国七大学総合体育大会 体操の部
2、主催	名古屋大学体育会（大会主幹）、北海道大学体育会、東北大学学友会体育部、東京大学体育会、京都大学体育会、大阪大学体育会、九州大学体育総務委員会
3、主管	名古屋大学体育会 名古屋大学体育会体操部
4、参加大学	北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学
5、大会期間	9/2(月)～9/4(水)
6、開催会場	四日市市総合体育館
7、参加資格	以下の3点を満たした者のみ参加資格を与える。 ①エントリー書類に必要事項を記載した者。 ②各校スポーツ保険に加入している者。 ③入学してから4年未満の七大学の学部生。非七大学の学生、七大学のOB・OGの参加については実行委員会の許可を要し、オープン参加のみこれを認める。
8、大会形式	①団体総合選手権 各大学から1団体の参加を認める。参加人数は1団体につき男子は1～6名、女子は1～4名とする。団体総合選手権参加者は「7、参加資格」にて参加資格を有するものに限る。 ②個人総合選手権 競技参加者のうち団体総合選手権に参加しない者は全員個人総合選手権での参加とする。 ③種目別選手権 ①、②に参加した競技参加者は種目別選手権にも参加しているものとする。 なお、②③においては新人戦を実施する。順位については「12、総合順位決定法」を参照。
9、試合形式	競技種目 「男子」ゆか あん馬 つり輪 跳馬 平行棒 鉄棒 の6種目 「女子」跳馬 段違い平行棒 平均台 ゆか の4種目 採点方法 ・男子、女子ともに三審制とするが、状況に応じて二審制を取り入れる。 三審制の場合、男女ともにD1兼E1/D2/E2とする。 二審制の場合、男女ともにD1兼E1/D2兼E2とする。

10、競技規則

1) 適用規則

男子、女子ともに2022-2024版採点規則および体操競技情報最新号を適用する。ただし、七大戦特別規則として規則を一部変更して適用する。詳しくは「3) 七大戦特別規則」に記す。

2) 新技申請

新技申請は、9月2日(月)(前日練習日)までに名古屋大学宛に新技申請を提出すること。

3) 七大戦特別規則

男子

1. 技の認定と難度の設定について

下記に示す技は、2022年版採点規則とは異なる難度の認定および設定を行う。

【つり輪】

- ・ 屈腕ほん転逆上がり倒立(屈腕後方車輪倒立) : C 難度(グループ I)
- ・ 屈腕後ろ振り上がり倒立(屈腕前方車輪倒立) : C 難度(グループ I)

※屈腕の減点およびその他の減点、伸腕の捌きと同一枠

【跳馬】

- ・ 台上前転 : Dスコア1.0で認定。

ただし実施減点として以下のような減点やその他の減点が行われる。

- ・ 器具にぶつかる -1.0
- ・ 大きさが -0.5, 0.3, 0.1

【平行棒】

- ・ 前振りひねり支持45°未満 : C 難度(グループ I)

※角度減点(-0.5)およびその他の減点、倒立位の捌きと同一枠

【鉄棒】

- ・ 足裏支持回転(ひねり)倒立 : A 難度(グループ III)

※角度減点およびその他の減点、倒立位の捌きと同一枠

- ・ け上がり支持 : A 難度(グループ III)(け上がり倒立と同枠)

2. 補足

- ・ つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒において、1名の補助者をつけることができる。
- ・ セーフティマットの使用について、全種目において認める。

3. a 難度(スモールエー)の認定について

多くの場合、大学はじめの選手は技を8つそろえて演技をすることが難しいので、ND(ニュートラルディアクション)を適用される場合が多い。また、無理に揃えようとして怪我のリスクが生じる恐れもある。このような選手に向けた特別ルールとして、採点規則に載っていない基礎的な動きをa 難度の技として認める。ただし、0.1の難度点を持つがグループ要求を満たさないものとして扱う。Eスコアの減点に関してはほかの技と同様に行う。

以下に、a 難度の技の例を挙げる。

【ゆか】

側転、ロンダート、後転倒立

【あん馬】

四つ足(片足の入れ~入れ~抜き~抜き)

【つり輪】

ケーブルに足を掛けて逆上がり、肩倒立

【平行棒】

後ろ振り上がり支持

【鉄棒】

前回り支持、後ろ回り支持、足裏支持回転(ひねり)下り、後ろ振り上がり支持

(上記以外のa 難度の技については、新技申請を行うこと)

女子(変更規則 I )  
 <A(0.10)の難度を認められる要素>の追加  
 以下の要素は技数1技と数え、Dスコアに0.1加点するが、構成要求には使用できない。

【段違い平行棒】

- ・フット下り(高・低)
- ・大振り逆上がり
- ・駆けて蹴上がり

【平均台】

- ・伸身とび
- ・抱え込みとび
- ・前転
- ・後転
- ・ロンダート下り
- ・転回下り

【ゆか】

- ・前方倒立回転
- ・後方倒立回転
- ・側方倒立回転
- ・倒立前転

<難度0.0として一技に認められる要素>の追加  
 以下の要素は技数1技と数えるが、Dスコアに加点をせず、構成要求にも使用できない。

【段違い平行棒】

- ・逆上がり

<跳馬>の追加  
 台上前転、頭跳ね起き等は全て転回(D=2.0)として認め、変更規則 I 中の「10.6 種目特有な実施減点」と、下に記載した追加の減点を行う。

<10.6種目特有な実施減点>の追加  
 支持局面 頭が跳馬にあたる:-3.0  
 第2空中局面 背中が跳馬にあたる:-3.0

1 1、競技進行予定

9/2(月) 前日会場練習  
 11:30~12:00 受付  
 12:00~14:00 セッティング  
 14:00~19:00 フリー練習

9/3(火)

9:00~9:30 受付  
 9:30~9:50 補助役員会議・審判会議  
 10:00~10:20 代表者会議  
 9:30~10:30 男子A班会場練習  
 10:40~10:50 開会式  
 10:50~13:30 男子A班競技  
 13:40~14:40 男子B班会場練習  
 14:45~17:15 男子B班競技  
 17:20~17:30 新体操演技(東北大)  
 17:30~19:00 男子団体フリー練習  
 9:30~19:00 女子フリー練習

9/4(水)

9:00~9:30 受付  
 9:30~9:50 補助役員会議・審判会議  
 10:00~10:20 代表者会議  
 9:30~10:45 女子A班会場練習  
 10:50~12:45 女子A班競技  
 9:30~10:40 男子団体会場練習  
 10:45~13:55 男子団体競技  
 12:50~14:05 女子団体会場練習  
 14:10~16:05 女子団体競技  
 16:20~17:50 カッティング  
 18:00~18:15 閉会式  
 ~18:30 完全撤収

<p>1 2、総合順位決定法</p>	<p>① 団体総合選手権  ・男子は団体選手の各種目の上位5名の得点の6種目合計により決定する。  ・女子は団体選手の各種目の上位3名の得点の4種目合計により決定する。  ・男子団体総合選手権の結果を、七大学総合体育大会体操競技の部の得点とする。得点は、優勝10pt、二位8pt、三位6pt、四位4pt、五位3pt、六位2pt、七位1ptとする。該当団体なし、または得点なしの場合は0ptとする。</p> <p>② 個人総合選手権  ・男子6種目、女子4種目の合計により決定する。ただし1種目でも棄権した種目がある場合は、表彰の対象としない。</p> <p>③ 種目別選手権  ・男女とも、各種目の得点の合計により決定する。全種目の演技をしなくても表彰の対象とする。</p> <p>④ 新人戦個人総合選手権  ・各大学の1年生のみを対象とし、男子6種目、女子6種目の得点の合計により決定する。ただし1種目でも棄権した種目がある場合は、表彰の対象としない。</p> <p>⑤ 新人戦種目別選手権  ・各大学の1年生のみを対象とし、男女とも各種目の得点の合計により決定する。全種目の演技をしなくても表彰の対象とする。</p>
<p>1 3、表彰</p>	<p>① 団体総合選手権  ・1～7位に賞状を授与する。優勝校にはトロフィーも授与する。</p> <p>② 個人総合選手権  ・1～6位に賞状を授与する。</p> <p>③ 種目別選手権  ・各種目、1～6位に賞状を授与する。</p> <p>④ 新人戦個人総合選手権  ・1～6位に賞状を授与する。  ・一年生で個人総合選手権に入賞したものはそちらを優先し、順位の繰り上げを行う。</p> <p>⑤ 新人戦種目別選手権  ・1～3位に賞状を授与する。  ・一年生で種目別選手権に入賞したものはそちらを優先し、順位の繰り上げを行う。</p>
<p>1 4、その他</p>	<p>・各大学は、会場に到着後すぐに受付を行うこと。受付時に選手変更用紙・プラカードを回収する。  ・選手宣誓の打ち合わせのため、前年度の男女団体優勝校の主将はそれぞれ受付時に集合すること。</p> <p>・ゼッケンは各自で準備すること。寸法は10cm×12cmとし、男子は黒字、女子は赤字でゼッケンナンバーを記入すること。ゼッケンナンバーは部報に記載された自分の番号のものを使用すること。</p> <p>・霧吹き、炭酸マグネシウムは各大学で持参すること。</p> <p>・器具の準備、片付けは各大学必ず参加すること。</p> <p>・各選手は学生証を持参すること。本大会実行委員会本部による本人確認が行われる可能性がある。</p>







